

平成28年11月期 中間決算短信 (平成27年11月15日～平成28年5月14日)

平成28年6月20日

ファンド名 国際のETF VIX短期先物指数 上場取引所 東証
 コード番号 1552
 連動対象指標 円換算したS&P500 VIX短期先物指数
 主要投資資産 指数連動有価証券
 売買単位 1口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <http://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 金上 孝
 問合せ先責任者 ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

半期報告書提出予定日 平成28年 8月 9日

I ファンドの運用状況

1. 平成28年5月中間期の運用状況 (平成27年11月15日～平成28年5月14日)

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成28年5月中間期	28,512	(99.5)	139	(0.5)	28,651	(100.0)
平成27年11月期	17,536	(99.5)	79	(0.5)	17,616	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成28年5月中間期	27,745	61,930	20,660	69,015

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
平成28年5月中間期	29,242	590	28,651	415
平成27年11月期	17,663	47	17,616	635

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 中間財務諸表等

国際的 E T F V I X 短期先物指数

(1) 【中間貸借対照表】

	第 5 期	第 6 期中間計算期間末
	[平成27年11月14日現在]	[平成28年5月14日現在]
	金額 (円)	金額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	16,705,232	135,138,477
金銭信託	938,717	—
コール・ローン	108,941,742	586,051,392
社債券	17,536,910,641	28,512,540,428
派生商品評価勘定	—	2,281,536
未収利息	178	—
その他未収収益	—	6,583,034
流動資産合計	17,663,496,510	29,242,594,867
資産合計	17,663,496,510	29,242,594,867
負債の部		
流動負債		
未払金	—	553,087,051
未払受託者報酬	6,491,112	5,167,914
未払委託者報酬	40,244,818	32,040,988
未払利息	—	1,926
その他未払費用	519,228	413,374
流動負債合計	47,255,158	590,711,253
負債合計	47,255,158	590,711,253
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	363,245,814,144	903,552,654,144
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 (△) ※2	△345,629,572,792	△874,900,770,530
(分配準備積立金)	(△216,174,122)	(△216,174,122)
元本等合計	17,616,241,352	28,651,883,614
純資産合計	17,616,241,352	28,651,883,614
負債純資産合計	17,663,496,510	29,242,594,867

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

	第 5 期中間計算期間	第 6 期中間計算期間
	自 平成26年11月15日 至 平成27年 5月14日	自 平成27年11月15日 至 平成28年 5月14日
	金額 (円)	金額 (円)
営業収益		
受取利息	121,764	56,552
有価証券売買等損益	△7,990,854,908	△4,438,718,868
為替差損益	256,593,404	△2,033,462,656
その他収益	2,951,500	6,583,034
営業収益合計	△7,731,188,240	△6,465,541,938
営業費用		
支払利息	—	26,976
受託者報酬	5,772,893	5,167,914
委託者報酬	35,791,867	32,040,988
その他費用 ※1	2,250,730	1,769,922
営業費用合計	43,815,490	39,005,800
営業利益又は営業損失 (△)	△7,775,003,730	△6,504,547,738
経常利益又は経常損失 (△)	△7,775,003,730	△6,504,547,738
中間純利益又は中間純損失 (△)	△7,775,003,730	△6,504,547,738
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う中間純損失金額の分配額 (△)	—	—
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	△211,311,310,519	△345,629,572,792
剰余金増加額又は欠損金減少額	105,775,260,000	255,528,280,000
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損 金減少額	105,775,260,000	255,528,280,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	518,972,435,000	778,294,930,000
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損 金増加額	518,972,435,000	778,294,930,000
分配金	—	—
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	△632,283,489,249	△874,900,770,530

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第 6 0 条および第 6 1 条にしたがって処理しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

	第 5 期 [平成27年11月14日現在]	第 6 期中間計算期間末 [平成28年5月14日現在]
※ 1 期首元本額	225, 922, 765, 692円	363, 245, 814, 144円
期中追加設定元本額	783, 399, 096, 000円	810, 787, 560, 000円
期中一部解約元本額	646, 076, 047, 548円	270, 480, 720, 000円
※ 2 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	345, 629, 572, 792円	874, 900, 770, 530円
3 受益権の総数	27, 745, 632口	69, 015, 632口
4 1口当たり純資産額	635円	415円

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 5 期中間計算期間 (自 平成26年11月15日 至 平成27年5月14日)

※ 1 その他費用
 上場費用および商標使用料等を含んでおります。

第 6 期中間計算期間 (自 平成27年11月15日 至 平成28年5月14日)

※ 1 その他費用
 上場費用および商標使用料等を含んでおります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 5 期 [平成27年11月14日現在]	第 6 期中間計算期間末 [平成28年5月14日現在]
1 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

第 5 期 [平成27年11月14日現在]

該当事項はありません。

区 分	種 類	第 6 期中間計算期間末 [平成28年5月14日現在]		
		契 約 額 等 (円)	時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 アメリカドル	429, 190, 194	—	431, 471, 730
		うち1年超	—	—
	合 計	429, 190, 194	—	431, 471, 730
				2, 281, 536

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 - ①為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
 - ②当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 - （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。